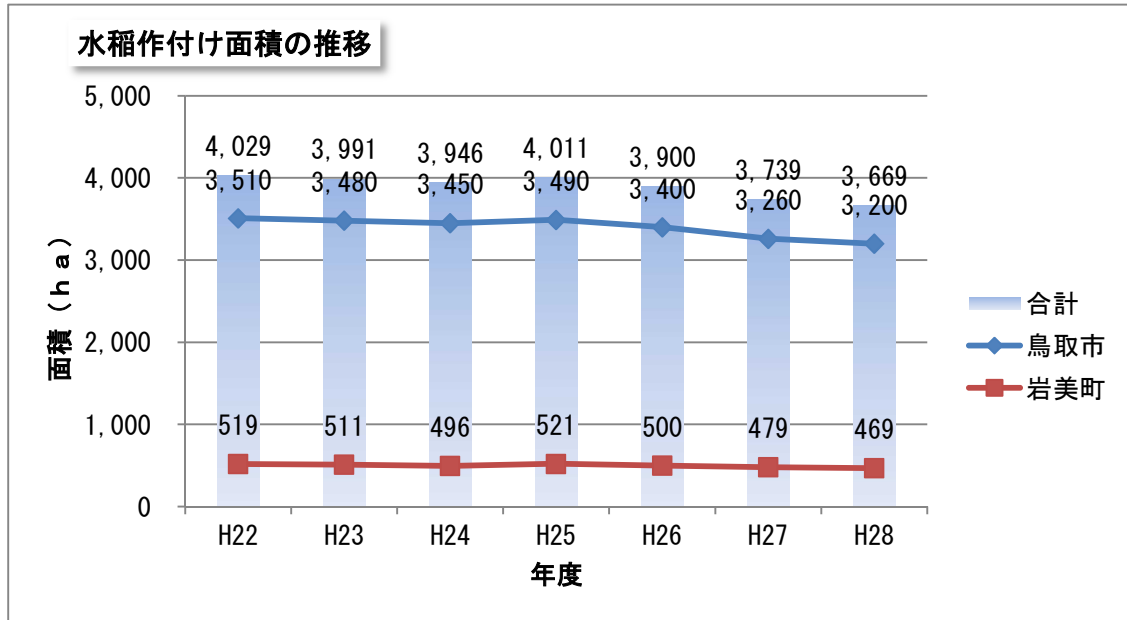


IV 主な農畜産物の生産、販売状況（※出展記載が無い場合は JA 鳥取いなば調べ）

1 水稲

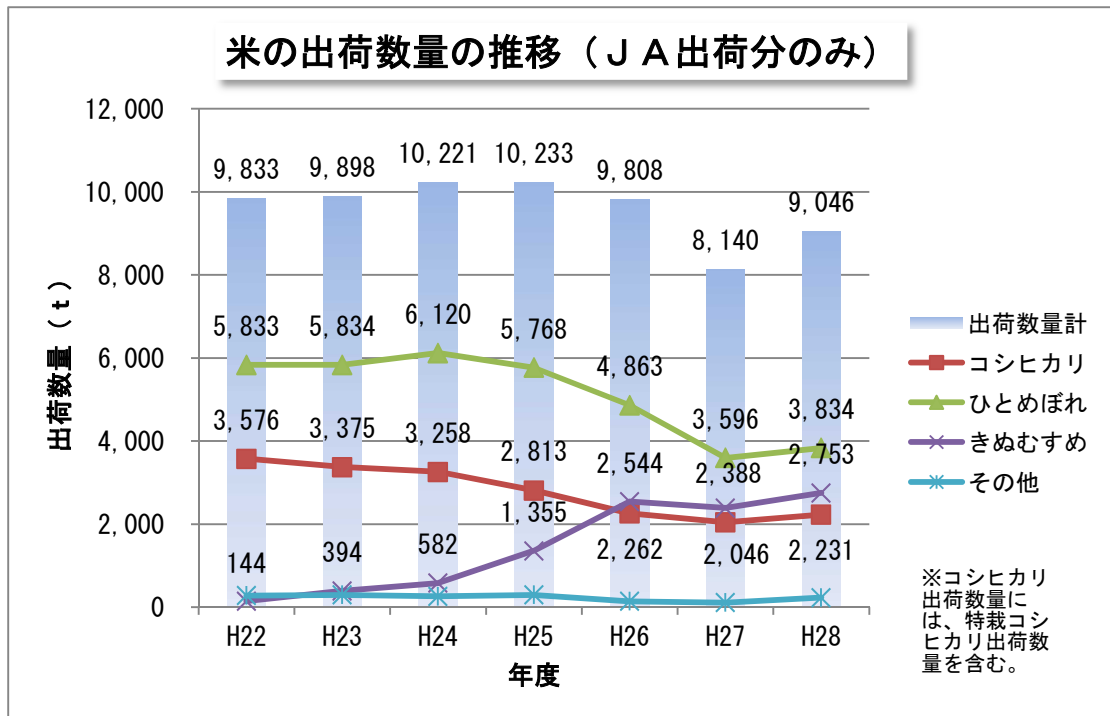
(1) 作付面積

H28 作付面積は H27 に比べわずかに減少した。



(2) 出荷数量（JA 出荷分のみ）

H28 は各品種ともほぼ前年どおりの比率で、JA へのお荷量は 9,046 トン、前年対比 111% と増加。



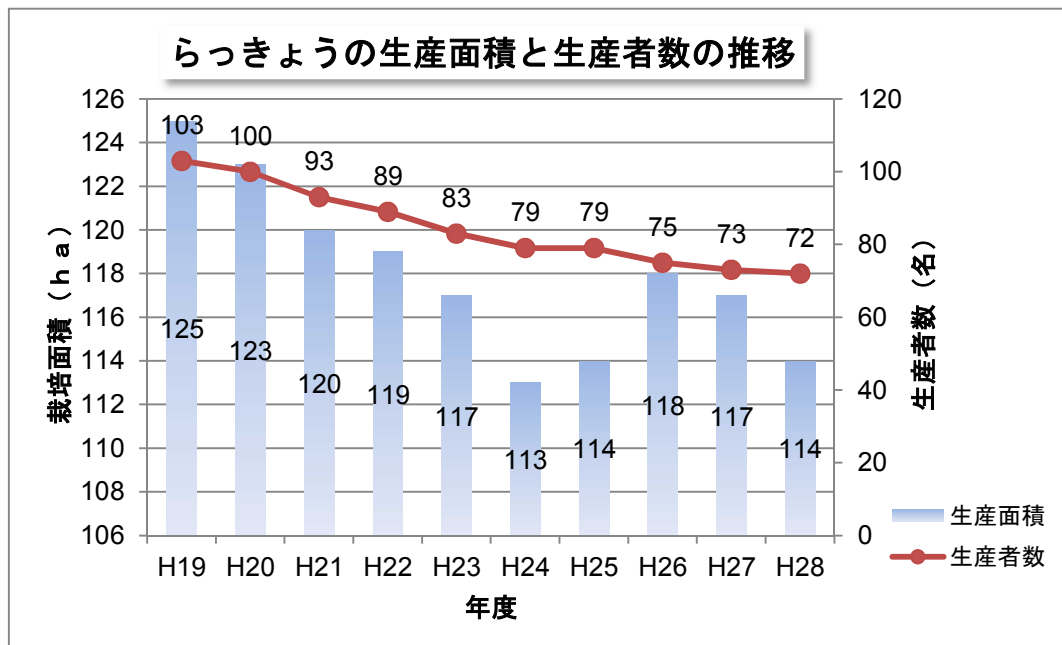
(3) トピックス

平成 28 年県産きぬむすめは 4 年連続して、日本穀物検定協会の食味ランキングで最高ランクの特 A を取得した。

2 らっきょう

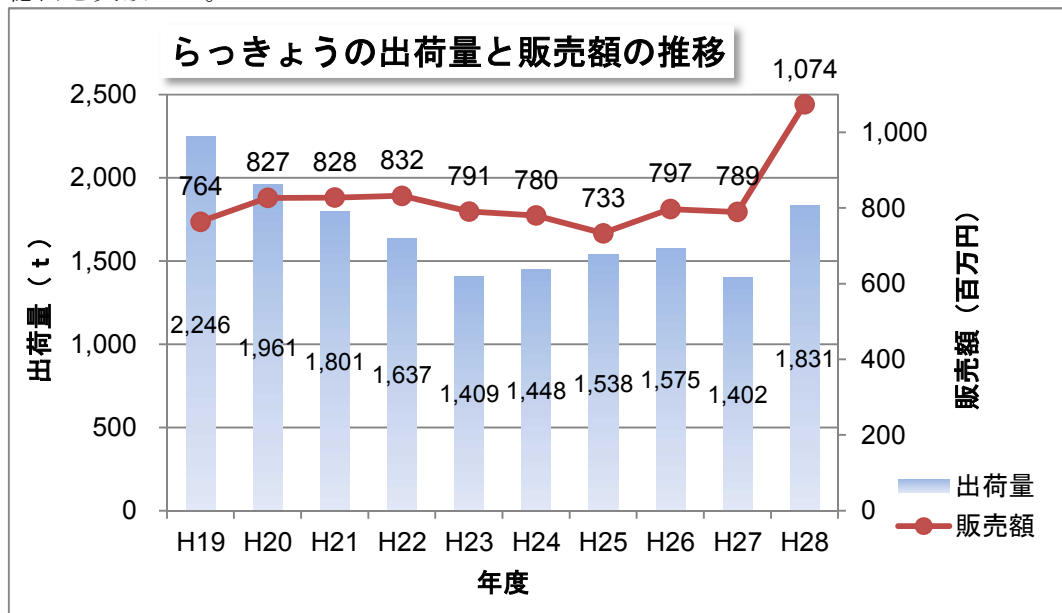
(1) 生産面積・生産者数

- ①鳥取市福部町で生産されている「砂丘らっきょう」は、県内の面積の約6割を占める。
- ②生産者数は減少しており、H28の生産者は10年前の約70%となっている。生産面積は平成25年から増加傾向にあったが、H28年は減少した。



(2) 出荷量・販売金額

出荷量の増加に加え、他県の主要産地の不作等による影響で過去最高の販売額を記録し、10億円を突破した。



(3) トピックス

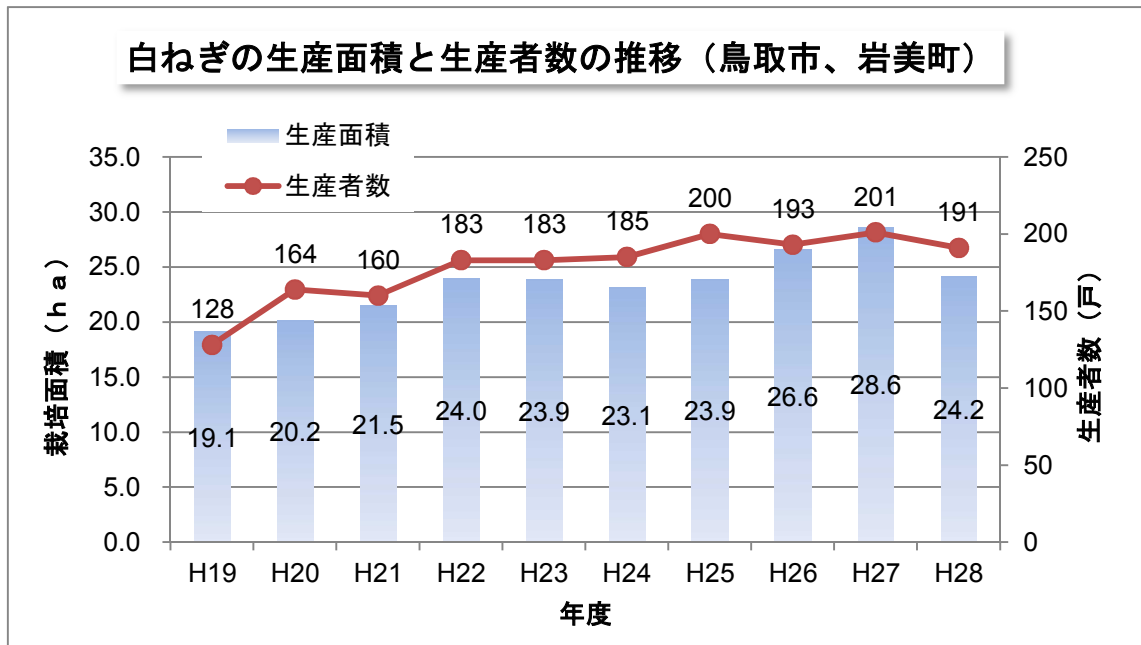
平成28年3月に農林水産省より、鳥取市福部町内の鳥取砂丘に隣接した砂丘畑で生産したらっきょうを「鳥取砂丘らっきょう」、「ふくべ砂丘らっきょう」として国内で11件目の地理的表示(GI)登録された。また、年度末から国の産地パワーアップ事業を活用してらっきょうの加工施設の整備に着手した。

3 白ねぎ

(1) 生産面積・生産者数

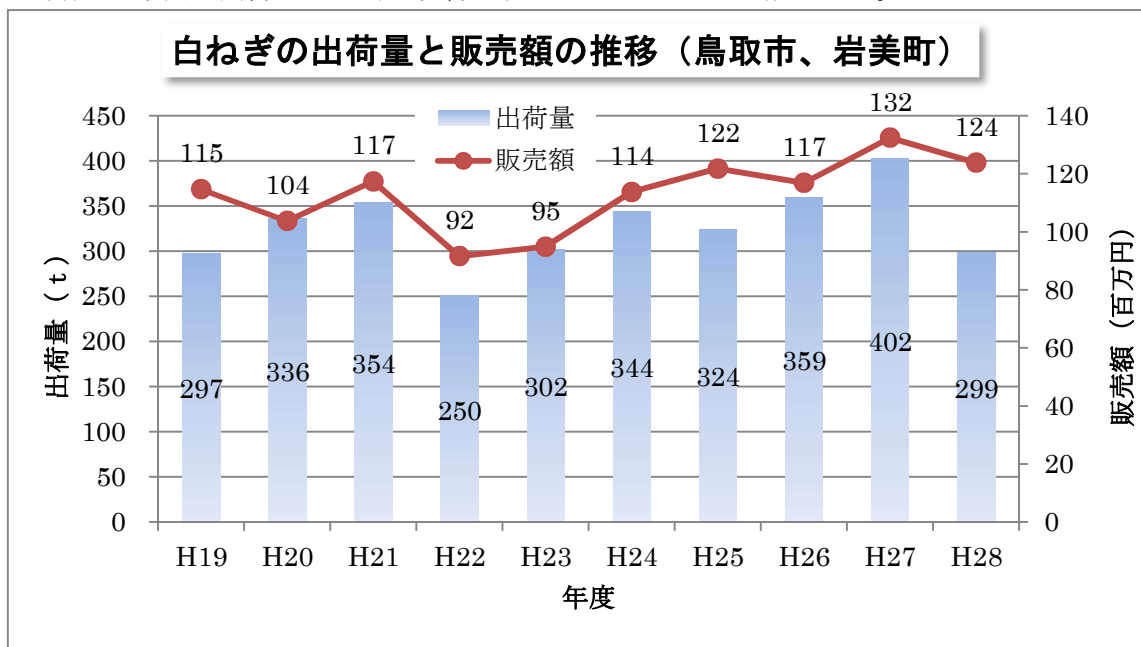
平成 28 年度生産者数は 191 名となり、面積も 24.2ha と減少した。

※平成 21～25 年度、JA 鳥取いなばの主体でチャレンジプラン支援事業を活用し管理機、皮剥機等機械のリースを実施した。平成 25 年度からは JA 鳥取いなば主体でがんばる地域プラン事業に取り組み、育苗ハウスの増棟や移植機等の機械リースを実施中である。



(2) 出荷量・販売金額

平成 28 年度の出荷量は大雪の影響をうけて 299t と大きく減少した。



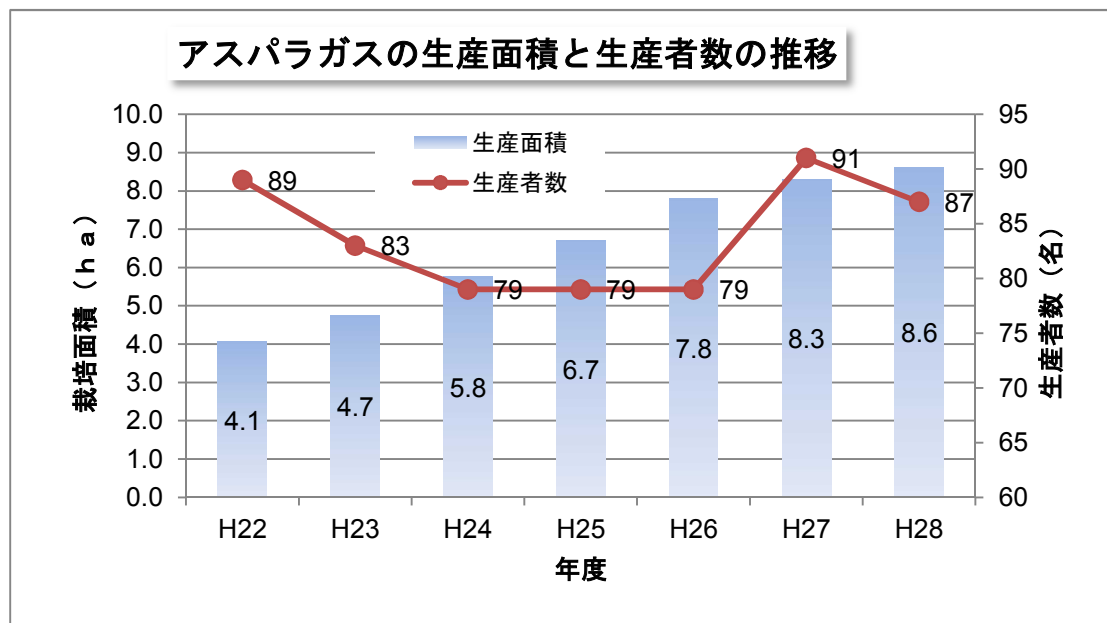
(3) トピックス

JA 鳥取いなばが関係機関と協力し「白ねぎ倍増プラン」を平成 25 年度に策定した。栽培面積を H25 実績の 42 ヘクタール（八頭管内含む）から H30 には 80 ヘクタールへ倍増する計画としている。

4 アスパラガス

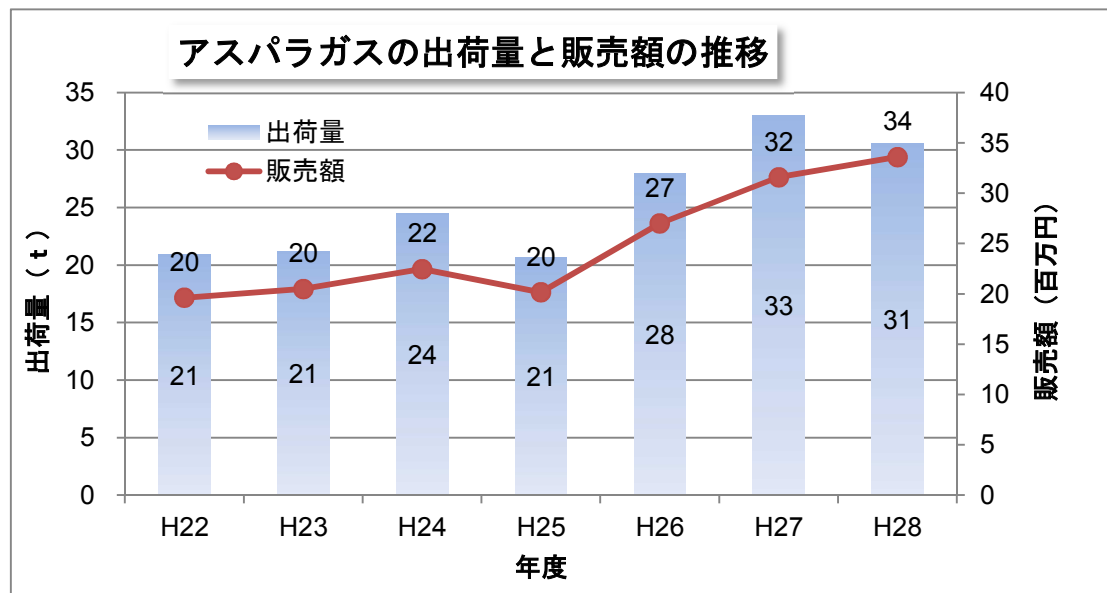
(1) 生産面積・生産者数（八頭管内含む）

面積はH22以降、毎年増加しH28は8.6haとなった。生産者数は前年から減少し87名となった。



(2) 出荷量・販売金額（八頭管内含む）

H28の出荷量は31tで前年よりわずかに減少したが、単価に支えられ販売額はH22以降で最も高い34百万円となった。



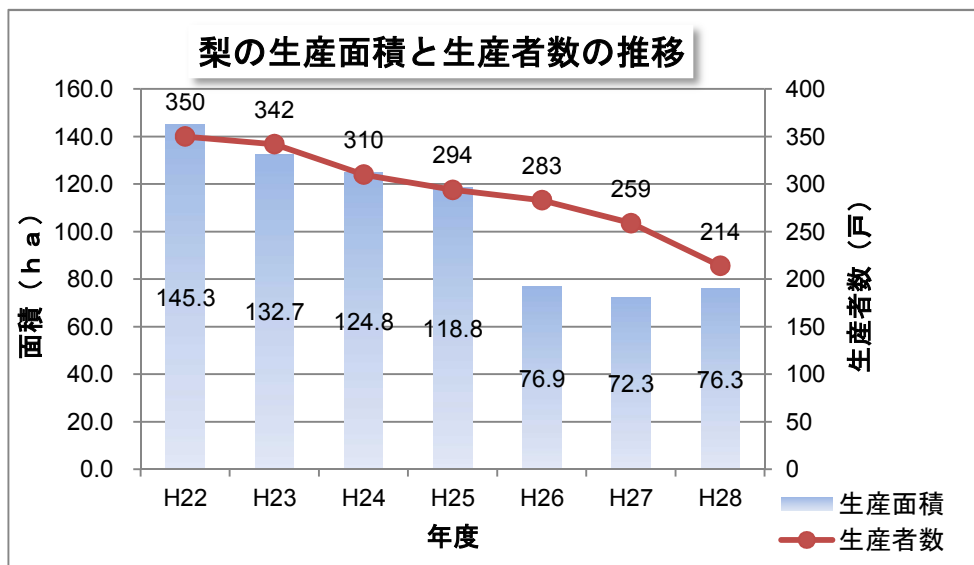
(3) トピックス

らっきょう、白ねぎに次ぐ特産品としてアスパラガスを育成するため、JA、県、市町からなるプロジェクトチームをH26に設置し、生産の推進を行っている。また、このプロジェクトの一環として、H28年2月に「JA鳥取いなばアスパラガス振興プラン」が策定された。

5 梨

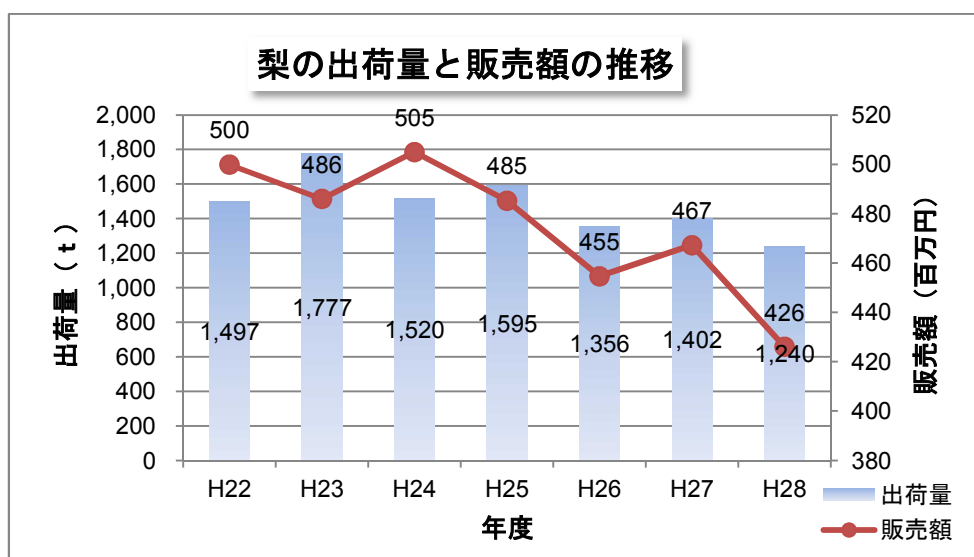
(1) 生産面積・生産者数

生産者数は毎年減少している。栽培面積は新品種が増え 28 年度わずかに増加した。



(2) 出荷量・販売金額

出荷量は対前年比 88%、販売額は 91%と減少した。



(3) トピックス

現在、「二十世紀梨」が主流であるが、「新甘泉」を中心に新品種の導入が進んでいる。

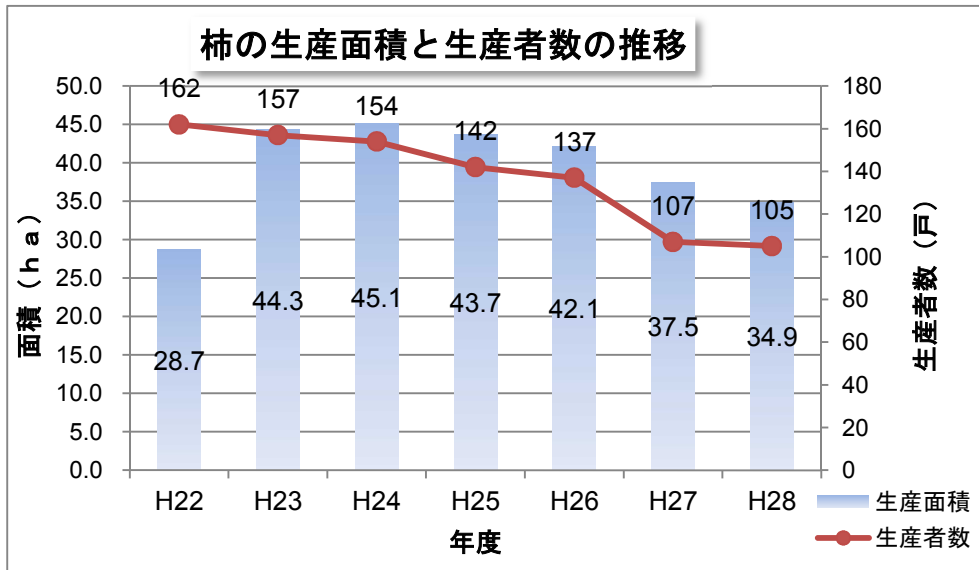
	H18~H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
新品種苗木本数	1,538	1,041	3,862	1,589	682	657	8,712
うち新甘泉	951	527	2,393	947	521	561	5,339

※JA 鳥取いなばが管内農家へ配布した本数

6 柿

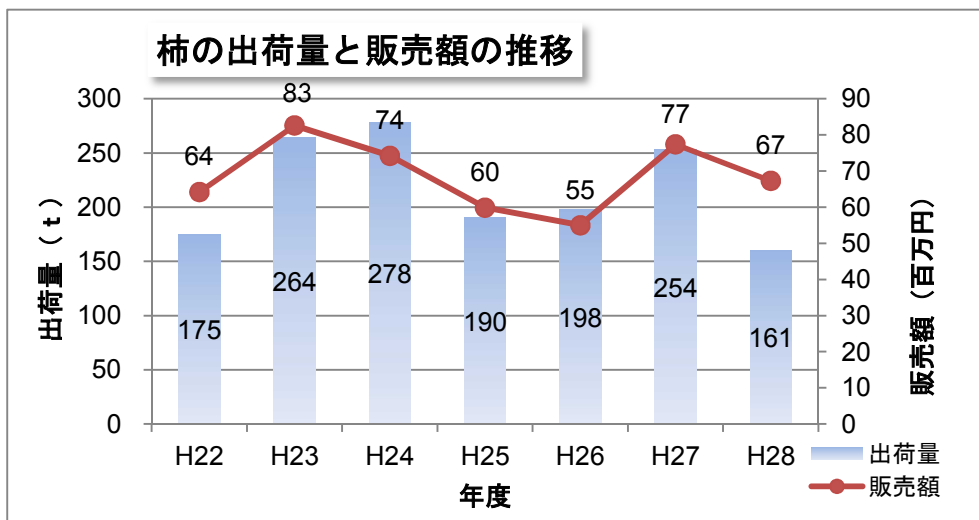
(1) 生産面積・生産者数

減少傾向が続いており、生産者数、面積もわずかであるが減少した。



(2) 出荷量・販売金額

出荷量は対前年比 66%、販売額は 88%と大きく落ち込んだ。



(3) トピックス

現在、「富有」、「西条柿」が中心であるが、収量、品質、販売単価の高い新品種「輝太郎」の植栽を進めている。

	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	合計
輝太郎苗木本数 (本)	937	387	277	712	619	713	502	4,147

※JA 鳥取いなばが管内農家へ配布した本数

7 乳用牛

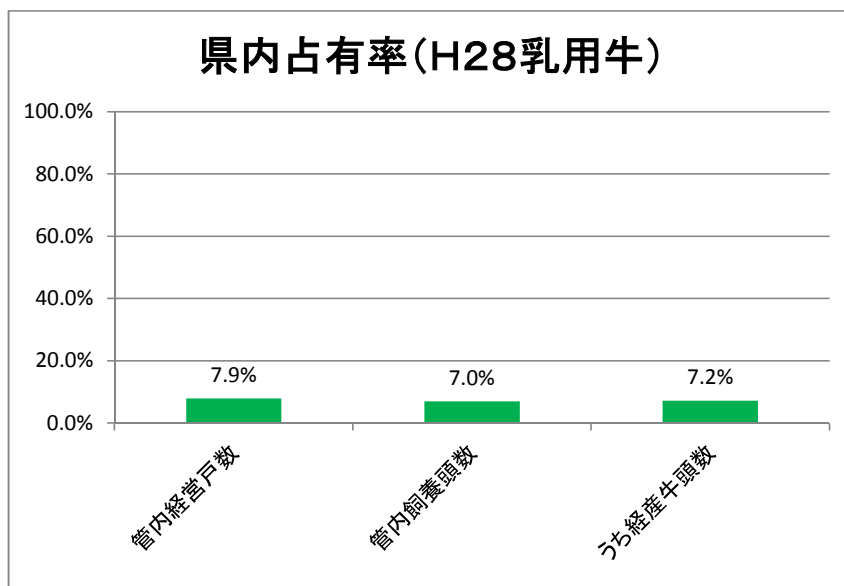
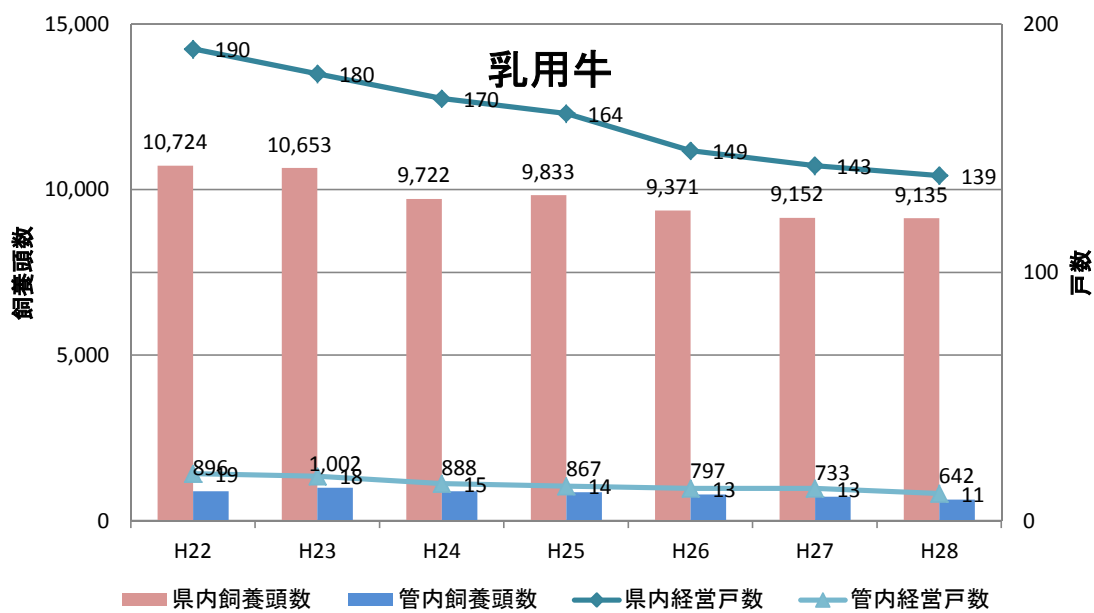
酪農経営においては、昨年から2戸が廃業、戸数、飼養頭数は全県の7%程度を占める。

乳用牛

(単位:戸、頭・羽、%)

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	前年比	県内占有率
管内経営戸数	19	18	15	14	13	13	11	84.6%	7.9%
管内飼養頭数	896	1,002	888	867	797	733	642	87.6%	7.0%
うち経産牛頭数	693	627	610	602	541	504	436	86.5%	7.2%
県内経営戸数	190	180	170	164	149	143	139	97.2%	
県内飼養頭数	10,724	10,653	9,722	9,833	9,371	9,152	9,135	99.8%	
うち経産牛頭数	6,911	6,658	6,679	6,623	6,298	6,144	6,063	98.7%	

資料:県畜産課調べ
※管内は鳥取市及び岩美町



8 肉用牛

繁殖経営は全県で1戸減少し225戸(226戸)、飼養頭数は増加し3,316頭(2,849頭)。管内では1戸増加し10戸(9戸)。

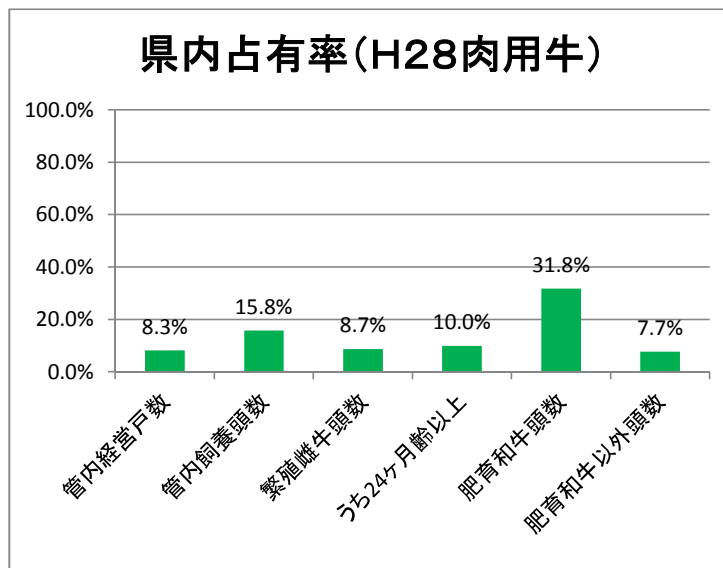
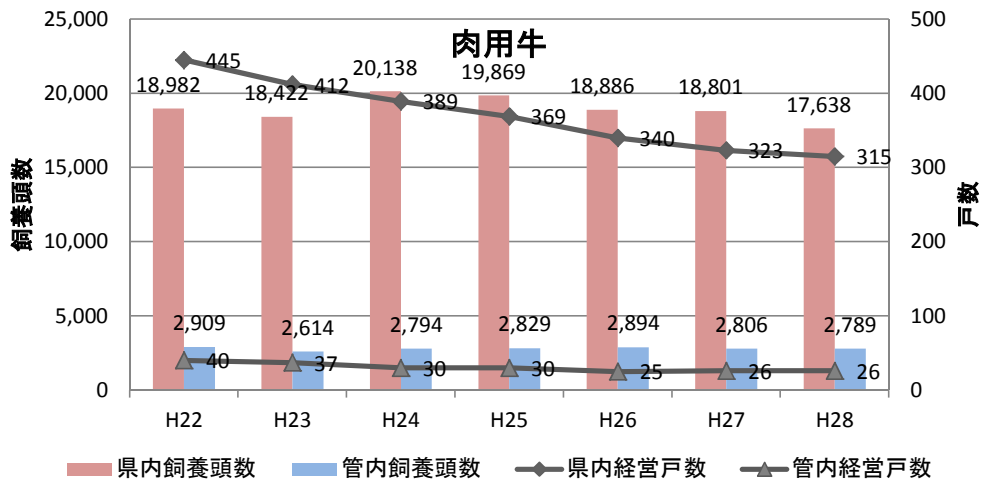
一貫経営は全県で3戸減少し43戸(46戸)、飼養頭数は1,330頭減少し4,362頭(5,692頭)。管内は1戸減少し6戸。

肥育経営は全県で2戸減少し47戸(49戸)、飼養頭数は減少し9,561頭(9,822頭)。管内では増減なく10戸。

肉用牛

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	前年比	県内占有率
管内経営戸数	40	37	30	30	25	26	26	100.0%	8.3%
管内飼養頭数	2,909	2,614	2,794	2,829	2,894	2,806	2,789	99.4%	15.8%
繁殖雌牛頭数	365	373	344	353	359	329	377	114.6%	8.7%
うち24ヶ月齢以上	323	314	241	250	288	273	264	96.7%	10.0%
肥育和牛頭数	1,697	1,694	1,781	1,854	2,024	1,849	1,832	99.1%	31.8%
肥育和牛以外頭数	737	550	669	622	511	628	580	92.4%	7.7%
県内経営戸数	445	412	389	369	340	323	315	97.5%	
県内飼養頭数	18,982	18,422	20,138	19,869	18,886	18,801	17,638	93.8%	
繁殖雌牛頭数	3,160	3,141	4,156	4,246	3,981	4,062	4,326	106.5%	
うち24ヶ月齢以上	2,728	2,827	2,585	2,559	2,452	2,592	2,648	102.2%	
肥育和牛頭数	6,969	7,295	6,639	6,626	6,570	5,991	5,753	96.0%	
肥育和牛以外頭数	8,743	7,986	9,343	8,997	8,335	8,593	7,559	88.0%	

資料：県畜産課調べ
※管内は鳥取市及び岩美町



9 豚

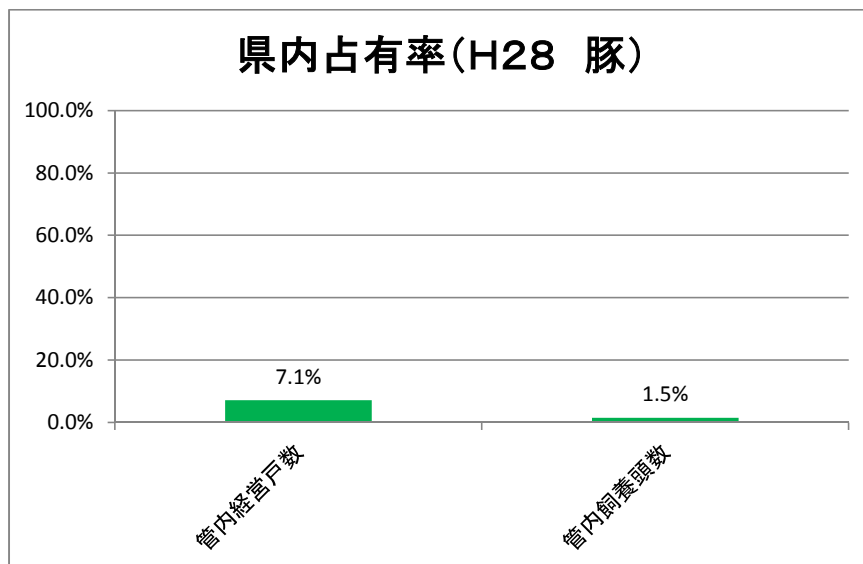
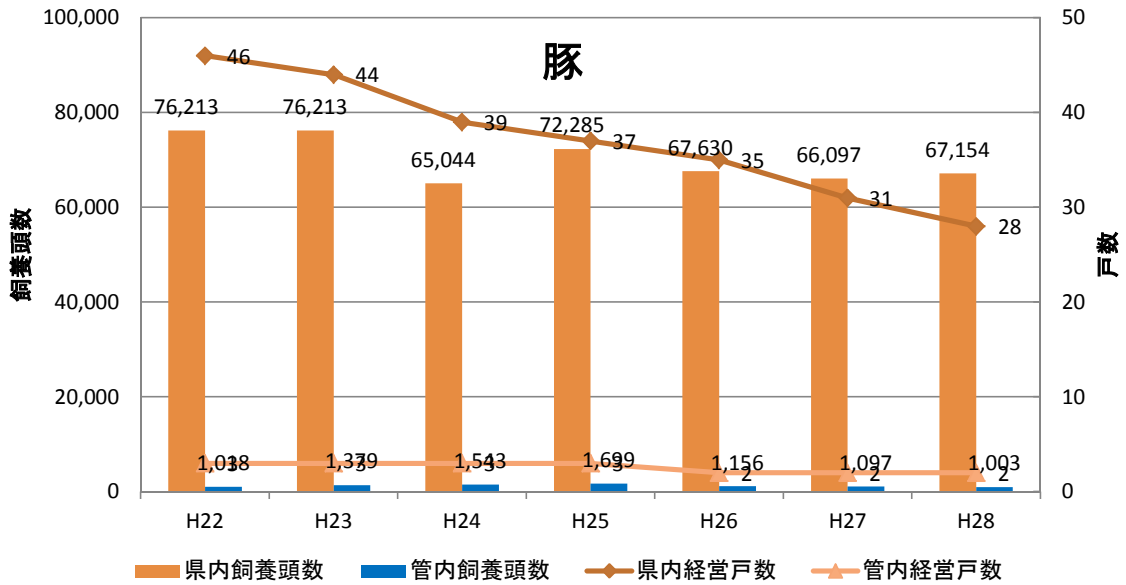
経営戸数は全県で3戸減少し、飼養頭数は微増。管内は戸数は変化なく、飼育頭数は若干減少。

(単位:戸、頭・羽、%)

豚

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	前年比	県内占有率
管内経営戸数	3	3	3	3	2	2	2	100.0%	7.1%
管内飼養頭数	1,018	1,379	1,543	1,699	1,156	1,097	1,003	91.4%	1.5%
県内経営戸数	46	44	39	37	35	31	28	90.3%	
県内飼養頭数	76,213	76,213	65,044	72,285	67,630	66,097	67,154	101.6%	

※管内は鳥取市及び岩美町



10 鶏

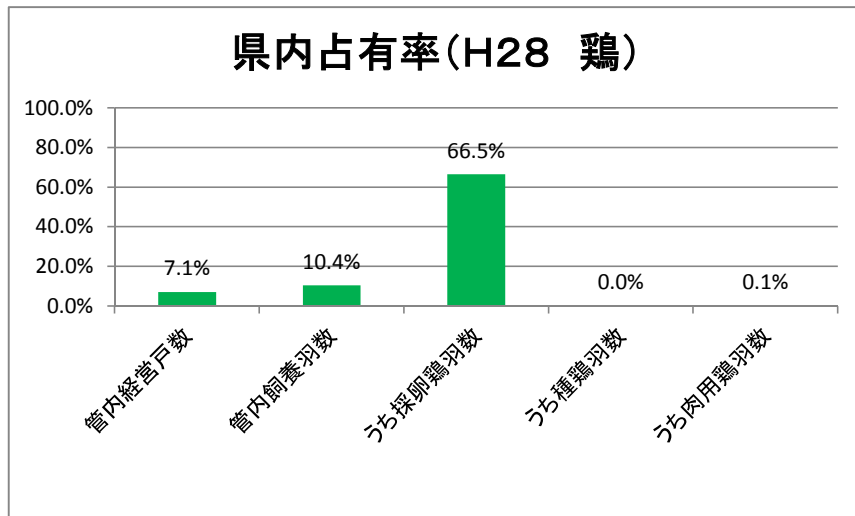
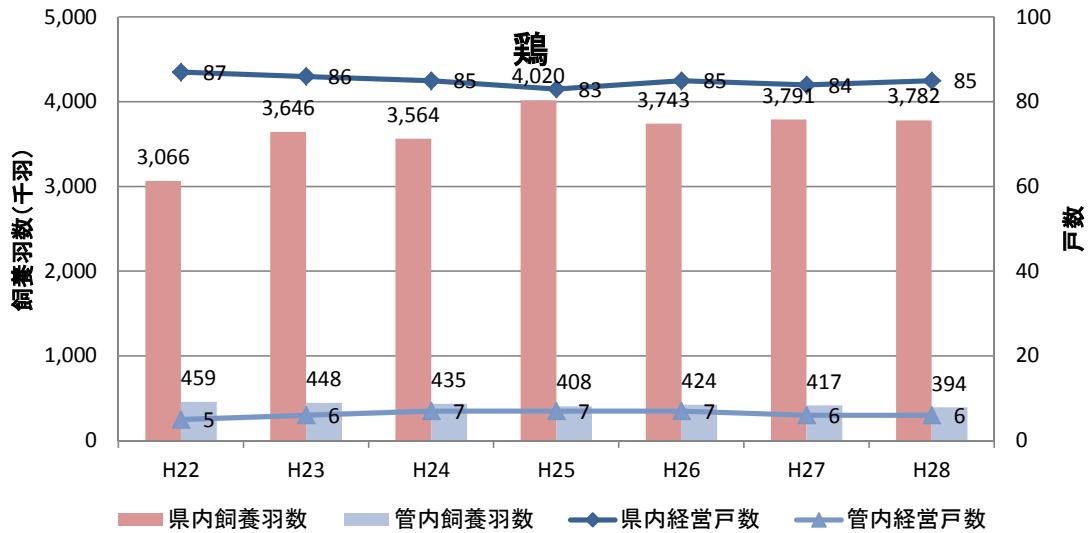
採卵経営においては、全県で1戸増えたが、飼養羽数は微減。管内では県内飼養採卵鶏の70%弱を占め、大規模経営体が目立つ。戸数は横ばいの6戸で飼養羽数は5%減少。

肉用鶏については、全県で変化なく、飼養羽数は増加。管内は変化無し。

(単位:戸、頭・羽、%)

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	前年比	県内占有率
管内経営戸数	5	6	7	7	7	6	6	100.0%	7.1%
管内飼養頭数	459,291	447,882	435,253	407,811	423,740	416,690	393,899	94.5%	10.4%
うち採卵鶏羽数	458,503	446,303	434,291	406,013	420,780	408,690	392,002	95.9%	66.5%
うち種鶏羽数	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0%
うち肉用鶏羽数	788	1,579	962	1,798	2,960	2,111	1,897	89.9%	0.1%
県内経営戸数	87	86	85	83	85	84	85	101.2%	
県内飼養頭数	3,065,730	3,645,761	3,563,744	4,020,286	3,743,239	3,791,418	3,781,726	99.7%	
うち採卵鶏羽数	686,322	667,162	648,059	599,084	615,799	603,936	589,137	97.5%	
うち種鶏羽数	119,500	144,900	150,220	145,597	143,866	143,881	146,639	101.9%	
うち肉用鶏羽数	2,259,908	2,833,699	2,765,465	3,275,605	2,983,574	3,043,601	3,045,950	100.1%	

資料:県畜産課調べ
※管内は鳥取市及び岩美町



V 鳥獣害の状況

農作物の被害金額は年により変動があるが、捕獲頭数は主な有害鳥獣であるイノシシ、シカが増加している。

1 農作物被害金額とその主な内訳

(単位:千円)

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
被害額	41,067	46,976	37,798	14,769	9,497	18,782	16,908	30,753	18,647	13,006	18,663	31,476	28,447	31,618	
主な鳥獣種	イノシシ (58%)	23,934 (63%)	21,837 (58%)	6,572 (44%)	6,587 (69%)	14,915 (79%)	13,730 (81%)	16,696 (54%)	14,073 (75%)	10,601 (82%)	15,984 (86%)	11,011 (35%)	22,594 (79%)	26,893 (85%)	
	ヌートリア	13	228	13	60	76	576	898	76	24	0	55	138	39	
	クマ	0	673	0	3,441	877	1,273	58	3,978	326	1,392	0	15,566	870	2,132
	シカ	142	0	0	0	137	186	351	17	88	6	139	346	895	783
	カラス	15,466	14,409	15,948	4,696	1,503	1,714	1,269	1,406	3,190	360	1,821	2,469	493	754

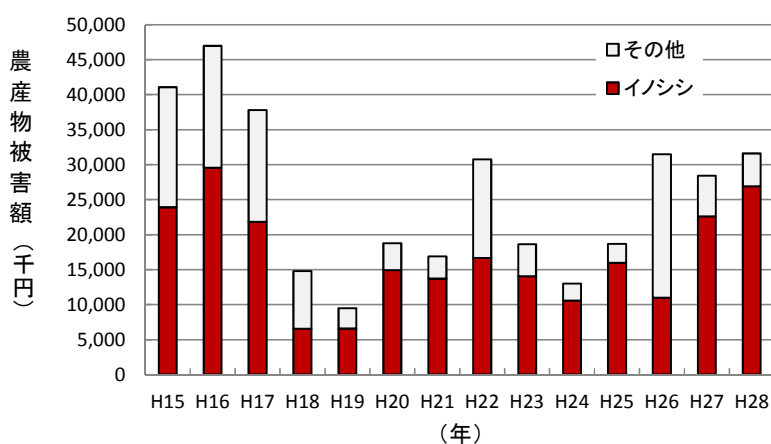


図 東部管内（鳥取市、岩美町）における野生鳥獣による農作物被害額の推移

2 主な鳥獣の捕獲実績（有害捕獲許可による捕獲頭数）

(単位:頭、羽)

鳥獣種	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	備考
イノシシ	719	961	1,254	1,381	1,448	2,092	1,530	1,692	2,080	2,411	2,936	3,788	
ヌートリア	0	0	192	552	1,637	1,126	957	641	698	551	369	534	防除計画での捕獲含む
シカ	4	6	26	73	278	481	587	632	800	867	980	828	猟期含む
タヌキ	0	0	3	5	6	5	0	0	0	0	11	0	
アライグマ	0	2	12	14	25	27	20	16	30	43	17	31	防除計画での捕獲含む
カラス	479	633	876	758	352	639	239	410	355	554	648	393	

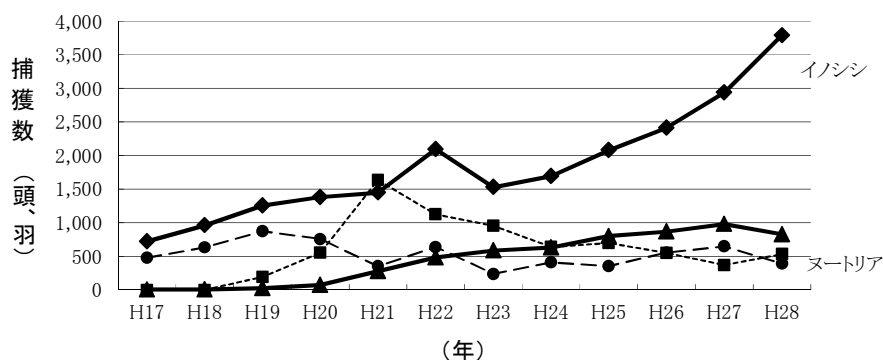


図 東部管内（鳥取市、岩美町）における主な鳥獣の捕獲実績の推移